

令和元年度発掘調査速報展

はじめに

発掘調査速報展は、弘前市教育委員会が平成9年度から毎年開催しているもので、今回が23回目となります。本速報展は、当市が実施した発掘調査の成果について紹介すると共に、遺跡の保護についてご理解とご協力を得られることを願い、開催しているものです。

今回の速報展は、開発による遺跡への影響を確認するため、令和元年度に実施した市内11遺跡12か所の発掘調査から、^{あかい}赤井遺跡、^{たねもと}種本遺跡、^{しせきつがる}史跡津軽氏城跡弘前城跡長勝寺構（^し長勝寺・^{あんせい}安盛寺）、^{みどりちょう}緑町遺跡、^{しんてらまち}新寺町遺跡の5遺跡6か所を紹介します。

紹介遺跡の調査要項

遺跡名	所在地	主な時代	調査期間	調査面積	調査原因
赤井遺跡	大字 ^{まえざか} 前坂	縄文・平安 ^{じょうもん へいあん}	5月8日～5月10日	4.5㎡	個人農業用倉庫建築
種本遺跡	大字 ^{とりいの} 鳥井野	平安	7月10日～7月18日	20㎡	個人住宅建築
史跡津軽氏城跡 弘前城跡長勝寺構 (長勝寺・安盛寺)	大字 ^{にししげもり} 西茂森	縄文・平安・ 近世 ^{きんせい}	9月5日～9月12日 5月7日～5月22日	3㎡ 20㎡	合葬墓設置 寺院増築
緑町遺跡	大字 ^{きたよこ} 北横	縄文・近世	10月1日～10月10日	16㎡	診療所建設
新寺町遺跡	大字 ^{しんてらまち} 新寺町	縄文・近世	12月12日～12月18日	6㎡	貸家住宅建設

赤井遺跡

赤井遺跡は、弘前駅から北北西約8km、岩木山東麓の段丘上に立地します。現況は、宅地及びりんご畑です。今回の調査対象区域は、遺跡中央部に位置します。

調査の結果、時期不明の土坑1基が検出され、縄文時代の土器・土製品が出土しました。



種本遺跡

種本遺跡は、弘前駅から西約6.5km、鳥井野集落の南西端及び如来瀬集落の南東端に位置し、岩木川左岸の標高約50mの河岸段丘南端部に立地します。現況は、宅地、りんご畑及び畑です。今回の調査対象区域は、遺跡北東側の隣接地です。

調査の結果、近世以降の土坑1基、ピット7基が検出され、平安時代の土器である土師器・須恵器が出土しました。



史跡津軽氏城跡弘前城跡長勝寺構

史跡津軽氏城跡弘前城跡長勝寺構は、弘前駅から西約2km、弘前城から南西約1kmに所在します。現況は寺院境内、宅地となっています。今回調査を行ったのは、長勝寺及び安盛寺の境内です。

調査の結果、長勝寺では、時期不明のピット1基が検出され、平安時代の土器である土師器や、近世以降の陶磁器が出土しました。また、安盛寺では、近世以降と考えられる土坑3基、ピット12基が検出され、縄文土器、土師器、近世以降の陶磁器・銭貨、砥石が出土しました。



作業風景（長勝寺）



作業風景（安盛寺）

緑町遺跡

緑町遺跡は、弘前駅から北西約1km、岩木川支流の土淵川^{つちぶちがわ}右岸に立地します。現況は宅地です。今回の調査対象区域は、遺跡南西端です。

調査の結果、遺構は検出されませんでした。近世～近代の遺物が多量に出土しました。



作業風景

新寺町遺跡

新寺町遺跡は、弘前駅から西約2km、土淵川の支流である寺沢川^{てらさわがわ}の右岸段丘上に立地します。現況は宅地及び境内地です。今回の調査対象区域は、遺跡南端です。

調査の結果、時期不明のピット4基が検出され、近世～近代の陶磁器や土製品が出土しました。



作業風景

おわりに

令和2年3月現在で当市の遺跡数は457か所を数えますが、未発見の遺跡がまだまだ多数存在していることと思われます。もし、みなさんの周りで土器や石器^{どき せっき}を発見したら、ぜひ文化財課までご連絡下さるよう、お願い申し上げます。

【展示に関するお問い合わせ先】

弘前市教育委員会 文化財課埋蔵文化財係（岩木庁舎3階）

〒036-1393 弘前市大字賀田一丁目1-1 TEL 0172-82-1642（直通）